



平成24年度 お知らせ

[2010年5月21日]

お知らせ

埋蔵文化財調査センターが関わる展覧会などを紹介していきます。

3月28日（木曜日）更新 当センターで「春の特別開館2013」を開催します。

調査研究課の米満です。

4月6日（土曜日）・7日（日曜日）に、「春の特別開館2013」を開催します。

当センターを土・日に特別開館し、体験コーナーとして、**火おこし体験**を企画しています。（予約不要、無料です。お子様から大人の方まで体験していただけます）。

また、展示コーナーとして、昨年9月に**重要文化財の指定**を受けた、**朝日遺跡** (<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/index.html>) から出土した遺物や、平成24年度豊田市下山地区で行った発掘調査等を、当センター職員が紹介します。

当日は「**やとみ春祭り**」も開催されます。当センターは、やとみ春まつり会場の弥富市文化広場の西隣、歩いて2～3分程の距離ですので、是非お立ち寄りください。

特別開館日の日程

4月6日（土曜日） 13:00～16:30まで開館

- ・ **火おこし体験**（体験は13:00～14:00まで。ライターもマッチも使わずに火を起こします。）
- ・ **朝日遺跡出土の重要文化財、豊田市下山地区の遺跡などの展示解説** 14:00～（1回）

4月7日（日曜日） 10:00～15:30まで開館

- ・ **火おこし体験**（体験は10:00～11:00 13:00～14:00まで。ライターもマッチも使わずに火を起こします。）
- ・ **朝日遺跡出土の重要文化財、豊田市下山地区の遺跡などの展示解説** 11:00～ 14:00～（2回）

問い合わせ： 愛知県埋蔵文化財調査センター 電話0567-67-4164

「春の特別開館2013」のチラシ



「春の特別開館2013」のチラシ (ファイル名:chirashi.pdf サイズ:510.56 KB)
(cmsfiles/contents/0000052/52702/chirashi.pdf)

チラシ (PDF) をダウンロードしてご覧ください。

3月25日 (月曜日) 更新 当センターが保管する清洲城下町遺跡の地層断面がCBCテレビで紹介されました。

調査研究課の伊奈です。

3月10日 (日) のCBCテレビ「イッポウススペシャル 巨大地震 生き抜くための5つの鉄則」で、当センターが保管する清洲城下町遺跡 (清須市) の地層断面が紹介されました。

紹介された地層断面は、1994年の (財) [愛知県埋蔵文化財センター](http://www.maibun.com/top/) (現 (公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター) の調査で剥ぎ取られたものです。地層断面には天正地震 (1586年) の際の液状化現象の痕跡が残っています。地震の後に街が復興されたことを示す層や街ごと名古屋に引っ越した「清須越し」 (1610年) の際に捨てられた清須城の瓦なども見ることができます。



番組で紹介された清洲城下町遺跡の地層断面剥ぎ取り。

番組は、東日本大震災から2年が経った今、防災の重要性を見つめ直すという内容で、過去の地震を検証するために地震断面が紹介され、清洲城下町遺跡の発掘調査を担当した服部俊之氏 (現愛知県立旭丘高校教頭) からの説明がありました。



取材を受ける服部俊之氏 (現愛知県立旭丘高校教頭)

番組で紹介された地層断面は普段は公開していませんが、当センターの資料管理閲覧室には、液状化現象の痕跡がわかる別の地層断面を展示しています。防災意識を高める意味でも是非見学していただけたらと思います。



資料管理閲覧室で展示中の清洲城下町遺跡地層断面（天正地震の液状化現象の痕跡）を取材

資料管理閲覧室および図書室の利用について

- 資料管理閲覧室は、平日（月～金）の午前9時から午後4時まで公開しています。（無料）

※ 2階事務室にお越しください。

- 団体での見学などで、職員による説明を希望される方は、あらかじめご連絡ください。

（電話 0567-67-4164）

- 研究のための資料調査をご希望の方も、事前にご連絡ください。

- 図書室の利用を希望される方も事前にご連絡ください。

2月7日（木曜日）更新 朝日遺跡出土品の重要文化財指定を記念した展覧会が開催されます。

調査研究課の伊奈です。

当センターが保管する朝日遺跡の出土品2028点が、今年度9月6日付で国の重要文化財に指定されたことは以前ご紹介しましたが、この度、これを記念した国重要文化財指定記念展「朝日遺跡、よみがえる弥生の技」<http://www.pref.aichi.jp/0000058192.html>が開かれることになりました。

重要文化財指定品を中心に約150点の土器・骨角器・木製品など高度な技術による生産物が展示され、東海地方最大の集落遺跡である朝日遺跡の実像に迫ります。

今回は講演会やシンポジウム、サテライト展示、スタンプラリーなどの関連事業も開催されます。是非お出掛けください。（展示観覧・関連事業参加ともに無料です。）

以下、観覧案内や関連事業を掲載します。なお、詳細は各主催者の案内をご確認ください。（愛知県のHP <http://www.pref.aichi.jp/0000058192.html> に詳細が出ていますのでご覧ください。）



パレススタイル土器と勾玉（まがたま）・管玉（くだたま）

国重要文化財指定記念展「朝日遺跡、よみがえる弥生の技」 (<http://www.pref.aichi.jp/0000058192.html>)

会期 : 平成25年3月20日（水・祝）から5月19日（日）

会場 : [愛知県清洲貝殻山貝塚資料館](http://www.pref.aichi.jp/0000055794.html) (<http://www.pref.aichi.jp/0000055794.html>) ・ 展示室

〒452-0932 清須市朝日貝塚1 電話 052-409-1467

主催 : 愛知県教育委員会、清須市、清須市教育委員会、

[公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター](http://www.maibun.com/top/) (<http://www.maibun.com/top/>)

展示内容

I 謎の円窓付土器

II 発掘された朝日遺跡

III 東海弥生文化の至宝

- (1) 木製品～弥生の匠
- (2) 骨角牙貝製品～精緻な芸術品
- (3) 金属製品～古代のハイテク
- (4) 石器・石製品～石の工芸品
- (5) 土器・土製品～弥生の造形

IV 弥生人の生活

観覧案内

開館時間：午前9時30分から午後4時

休館日：毎週月・火曜日。ただし、4月29日（月）、5月6日（月）は開館。

*記念展開催中は、通常の開館日を変更します。

観覧料：無料

関連事業

(1) [サテライト展示「朝日遺跡のはじまり」](http://www.city.kiyosu.aichi.jp/benri/03.html) (<http://www.city.kiyosu.aichi.jp/benri/03.html>) (清須市主管事業)

(2) [きよす歴史スタンプラリー](#) (清須市主管事業)

(3) **重要文化財指定記念講演会**（清須市主管事業）

(4) 関連講座

(5) 講演会・シンポジウム

※ 朝日遺跡の詳細については、「[朝日遺跡インターネット博物館](http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/index.html)」
<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/index.html> をご覧いただくとわかりやすいと思います。是非ご覧ください。



円窓（まるまど）付土器と骨角器

11月30日（金曜日）更新 清洲城下町遺跡の地層断面についての記事が中日新聞に掲載されました。

調査研究課の宇佐見です。

10月22日（月）中日新聞朝刊に、[清洲城下町遺跡](#)（清須市）の地層断面の写真が掲載されました。

掲載された地層断面は、1994年の（財）[愛知県埋蔵文化財センター](http://www.maibun.com/top/)（現（公財）愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター）の調査ではぎ取り、センターの収蔵庫に保管しているものです。地層断面には大地震の時に見られる**液状化現象**の痕跡が残っています。液状化の跡は、1610年の「清須越し」で捨てられた清須城の瓦より上の地層には見られないため、1586年におきた**天正地震**のものと考えられます。

当センターの[資料管理閲覧室](#)には、新聞に掲載されたものとは違いますが、**天正地震の液状化現象の痕跡**が残る地層断面を展示しています。ぜひ見学し、防災意識を高めていただけたらと思います。



天正地震の液状化現象の痕跡 資料管理閲覧室にて展示中

11月16日（金曜日）更新 当センターが保管する遺物が瀬戸市の瀬戸蔵ミュージアムで展示されています。

調査研究課の伊奈です。

現在、瀬戸市の瀬戸蔵ミュージアム (<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2011031500092/>) において、企画展『古瀬戸の誕生—「陶祖藤四郎」伝説とその時代—』 (<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2011031500146/>) (11月3日〈土〉～1月14日〈月〉まで) が開催されており、当センターが保管する遺物が展示されています。今回貸し出した遺物は、小田妻古窯跡群 (瀬戸市) と塚原1号窯跡 (瀬戸市) から出土した四耳壺や皿、花瓶など17点です。これらの遺物がどのように紹介されているのか、是非瀬戸蔵ミュージアムを訪ねてみてください。

なお、当センターに保管されている遺物の一部は、(公益財団法人)愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター (<http://www.maibun.com/top/>) のHP内「[アーカイブ 遺跡アルバム](http://www.maibun.com/KihonDate/album2/newindex.html)」 (<http://www.maibun.com/KihonDate/album2/newindex.html>) でご覧いただけます。



小田妻古窯跡群 (瀬戸市) の窯跡の発掘状況



塚原1号窯跡 (瀬戸市) での遺物の出土状況



塚原1号窯跡（瀬戸市）から出土した遺物の数々

10月26日（金曜日）更新 当センターが保管する遺物や写真図版が4つの施設で展示されています。

調査研究課の伊奈です。

当センターが保管する遺物や写真図版が今月から4つの施設で紹介されていますのでお知らせします。

[吉野ヶ里歴史公園 \(http://www.yoshinogari.jp/\)](http://www.yoshinogari.jp/)（佐賀県）

特別企画展『[よみがえる邪馬台国 \(http://www.yoshinogari.jp/contents4/detail.php?id=554\)](http://www.yoshinogari.jp/contents4/detail.php?id=554)』（10月6日（土曜日）から11月25日（日曜日）まで開催）では、[邪馬台国](#)と敵対した「[狗奴国（くなくく）](#)」の有力な比定地である[東海地方](#)と九州中・南部地方の最新資料を一堂に比較展示した展覧会です。当センターからは、「[廻間遺跡](#)」（はさまいせき 清須市）から出土した[人面文土器](#)などが出品されています。詳細は[吉野ヶ里歴史公園 \(http://www.yoshinogari.jp/\)](http://www.yoshinogari.jp/)のHPをご覧ください。



廻間遺跡出土の人面文土器